

会 議 要 旨

会 議 の 名 称		令和 7 年度第 1 回川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会
開 催 日 時		令和 7 年 8 月 1 9 日（火） 1 0 時 3 0 分から 1 2 時 0 5 分まで
開 催 場 所		川越市総合福祉センター オアシス 3 階 社会適応訓練室
出席者（委員） 氏 名（人数）		江田委員、中野委員、須藤委員、田中委員、倉嶋委員、金本委員、佐藤陽委員、野村委員、岡庭委員、佐藤保雄委員、田村委員、太田委員、中川委員、増野委員、芹澤委員（1 5 名）
欠席者（委員） 氏 名（人数）		廣川委員、藤崎委員、小林委員（3 名）
事 務 局 職 員 名		市 ：福祉部副部長兼福祉推進課長、福祉推進課職員 社協：地域福祉課長、地域福祉課職員 地域計画(株)：企画・計画課職員
会 議 次 第	1 開 会 2 議 題 （1）会長・副会長の選出 （2）「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の進行管理について （3）「第五次川越市地域福祉計画等策定に係る基礎調査」について 3 その他 4 閉 会	
配 布 資 料	資料 1 令和 6 年度みんなでつくる福祉のまち川越プラン 総括シート 資料 2 第四次川越市地域福祉計画 年次評価(令和 6 年度)シート 資料 3 令和 6 年度みんなでつくる福祉のまち川越プラン 地域の実施状況 資料 4 令和 6 年度地区別福祉プラン 評価シート 資料 5 地域福祉に関するアンケート調査(案) （市民調査）（関係機関調査）（団体・地域活動者調査） 資料 6 みんなでつくる福祉のまち川越プラン(本編、概要版) ※資料 6 は、令和 7 年度の委員改選に伴い、新委員のみ配布	

議 事 の 経 過	
〈凡例〉 ■議長 ●委員 ⇒事務局 ●増野委員 ⇒事務局	1 開 会 ○過半数の委員出席による会議の成立の報告 ○会議資料の確認 ○地域福祉活動推進委員会委員の委嘱書の交付、説明（社協） 2 議 題 (1) 会長、副会長選出 ○佐藤会長挨拶 ○会議公開についての承認 ⇒ 異議なし ○傍聴希望の確認 ⇒ なし (2) 「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の進行管理について ○資料１・２に基づき、事務局（市福祉推進課）から説明。 ○資料３・４に基づき、事務局（社会福祉協議会）から説明。 （質疑等） ●資料１、２ページ目の「アンケート調査に基づく指標」について、対象者は誰で、回収率はどのくらいなのか。また、３ページ目にＣＳＷとあるがこれの説明と、どのようにして認知度を上げていくのか。 ⇒（福祉推進課）市で行っている市民意識調査の数値を用いており、川越市在住の満１８歳以上の方を対象に、３，０００人を無作為抽出している。令和６年度調査の回収率は、４９．２％である。 ⇒（社会福祉協議会）ＣＳＷは、コミュニティソーシャルワーカーの略称であり、市内の各地域に担当職員がいて、様々な地域課題に取り組んでいる。近年、子どもから高齢者、障害者の方まで、複合化した生活課題を抱えている方が多くおり、そのなかには属性を問わない制度の狭間で困っている方もいる。属性を問わずこうした方の相談を受け、支援機関と連携しながら適切な支援機関につなげる活動を行っており、地域住民からの相談を受けている。認知度を上げていくところについては、地区

	担当の職員が高齢者のサロンや世代間交流の場のような地域の居場所に出向いていくことで、地域の困りごとがあればコミュニティソーシャルワーカーに相談を受けられるという草の根活動を行っている状況である。認知度を上げていくところは課題であるので、引き続き検討していく必要があると考えている。
●増野委員	●少なくとも各地区の自治会長レベルではC S Wの存在を知っているという理解でよい。
⇒事務局	⇒（社会福祉協議会）存在を知っているという点では、十分に行き届いていないところがある。地区社協の事業で関わっている方々については、ある程度認知されていると考えられるが、全ての自治会長となるとまだまだ不十分である。
●増野委員	●C S Wというせっかく良いシステムがあるのに、自治会などでの認知度が低いと生かすことができず、もったいないと考える。資料3のなかに世代間交流とあるが、具体的にどの世代間が交流しているのか。
⇒事務局	⇒（社会福祉協議会）具体的な定義があるわけではないが、親子世代、高齢者世代の三世代交流で事業を行っている。
●増野委員	●資料3について、市内全22地区あるなかで、該当地区数が7地区や6地区などの取組がある。これは、全22地区のうち7地区、6地区しか該当していないのか、そうであるならこの数値で評価の対象になるのか、それともこの数値は評価としては良好なのか伺いたい。
⇒事務局	⇒（社会福祉協議会）市内を22地区に分けて集計している。何を基に該当地区数を数えているか申し上げると、資料4の評価シートに掲載している地域の活動を抽出して、資料3の該当地区数に載せている。この件数が多いのか少ないのかについては、そもそも取組項目に活動を設けていない地区もあるので、項目により数件といった少ないところもあれば、該当地区数が20件に達するところもある。
●倉嶋委員	●資料1のなかに令和6年度の新規ケース数は3件で重層的支援会議は計13回開催したとあるが、この3件のなかの1件でよいので、具体的にどのような事業なのか、またその事業のどの

	部分が重層的支援体制に当たるのか教えてもらいたい。
⇒事務局	⇒(福祉推進課) 重層的支援会議の際の説明資料、個別事例資料を用いて説明
■佐藤議長	■重層事業の実施によって、縦割りを超えて連携した支援ができているのはよいことである。
●倉嶋委員	●資料に育成会が出ていたが、今現在育成会は何か所あるのか。また、どのような状況なのか。
⇒事務局	⇒(福祉推進課) 育成会の数までは把握できていない。負担感が大きいことから縮小傾向なのだと考えられる。 ⇒(社会福祉協議会) 育成会の数は把握していない。確かに育成会が解散したという話は耳にしたことがある。
●野村委員	●分科会の意見について、事例紹介の説明を通じて、児童虐待の防止につながっていると感じた。包括的な支援でつながらない場合、様子見となってしまう、なかなか支援の手が差し伸べられずネグレクトのような児童虐待につながる事例が多いため、それを防ぐ効果がみられると感じた。また、児童虐待だけでなく、各家庭の困りごとが重大になる前に防止する効果も顕著にみられると感じた。良い評価ができると思う。 重層的支援体制整備事業について、6つの事業を一体的に展開しなければならない点で、市の関係機関も多岐にわたり、社会福祉協議会も地域に密着した活動を展開している。その6事業を一人の職員が行うのであればわかりやすいと思うが、事業が6つに分かれて、さらに担当者も多岐にわたる点では、川越市のそれぞれの事業が充実するほどに全体の事業を調整する機能がより重視されてくるのではないかと思う。これは、重層事業ができてきているからこそその課題がそこにあるのではないかと思う。その具体例の一つとして、民生委員児童委員協議会の定例会に従事していた職員が、民生委員児童委員が支援しているなかでの困りごとをニーズの掘り起こしとして、一緒に考えたり行動したりしているところが非常に効果的だと思う。民生委員、コミュニティソーシャルワーカー、相談支援包括化推進員、それぞれ立場は異なるが、それぞれの活動をより効果的にコーディネートしていくところが次の課題であり、全国的にも重層

	事業に取り組む自治体共通の課題であると考え。そのポイントの一つが民生委員やC S Wが一人ひとりの取組から地域の課題を発見した時に、いかに社会資源の開発や地域全体の課題として捉え、それを政策に反映させるかという展開についても視点として取り入れながら、全体調整をすることが今後ますます重視される考える。 周知について、幅広く色々な方に届ける周知と、必要な人にいかに届けるかが重要であると考え。その点では、先ほど挙げた民生委員児童委員の具体例で必要な人に届けるところは効果が出ていると思う。先ほど増野委員からご指摘があった自治会長への認知度の低さについて、周知の対象に自治会長を入れていただき、福祉活動を行っている関係者以外への周知が次に取り入れるべき点として重要であると思う。
■佐藤議長	■孤独・孤立問題への対応も、重層事業を通じて進んでいくのではないか。重層事業をどう機能させていくか、次期計画につながっていく部分であると思う。
●増野委員	●重層事業をこれだけ行っていて、そこから漏れる人はどういう人なのか。また、外国人へはどのような取組があるのか。
⇒事務局	⇒（福祉推進課）アンテナを張っていても引っかからない方はいる。一番わかりづらいのは引きこもりである。ただ、重層事業を行っている自治体は支援会議を開催できるので、これを活用することで情報共有ができる。今後は開催回数も増やしていきたいと考えている。外国人の取組については、段々と拾えるようになってきている。川越駅西口に開設された福祉総合相談窓口の周知が広まってきており、そこが拾ってくれている。特に最近では保育園関係など子どもの相談が多い。 (3)「第五次川越市地域福祉計画等策定に係る基礎調査」について ○資料5に基づき、事務局（福祉推進課）から説明。 (質疑等) なし
■佐藤議長	■それでは、3 その他について事務局から説明願う。
	3 その他

⇒事務局 ■佐藤議長	⇒（福祉推進課）今年度は分科会をもう一回、年明け１月下旬～２月上旬に開催を予定している。議題として、本日の議題(3)にあげた「第五次川越市地域福祉計画等策定に係る基礎調査」を今年１０月から１１月にかけて実施するため、その結果報告に関する内容である。日時と場所は現在未定だが、決まり次第速やかにお知らせする。 ■全ての議事を終えたので、議長の職を解かせていただく。 みなさまのご協力に感謝する。 4 閉会 〔１２時０５分終了〕
--------------------------	---